



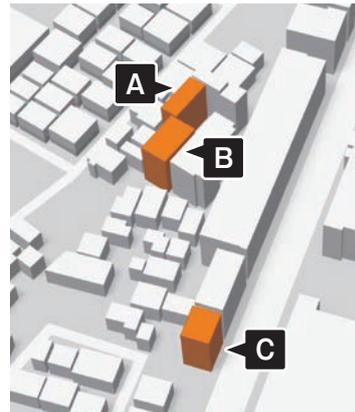
自家消費型太陽光発電 導入事例

株式会社 興電舎 様

自家消費型太陽光発電システムのコスト削減効果を実感。
 今後は自社の中心商材としても、積極的に提案。



株式会社 興電舎 様



- パネル容量: 11.13kW(東芝 多結晶 265W×42枚)
- PCS容量 : 10kW(安川電機製 10kW×1式)
- 金具 : ハゼ折板用金具(東芝製)



- パネル容量: 22.26kW(東芝 多結晶 265W×84枚)
- PCS容量 : 20kW(安川電機製 10kW×2式)
- 金具 : 重ね折板用架台(動力製)



- パネル容量: 11.13kW(東芝 多結晶 265W×42枚)
- PCS容量 : 10kW(安川電機製 10kW×1式)
- 金具 : 重ね折板用架台(動力製)

お客様の声

導入のきっかけ

当社は2012年の固定価格買取制度(以下:FIT)開始を契機に、産業用太陽光発電システムの販売・施工に参入し、おかげさまで順調に実績を伸ばすことができおりましたが、昨今のFIT買取価格低下により施工件数が減少し、新しい商材の必要性を感じておりました。一方で、当社の電気料金負担が増加していることも悩みの種となっておりました。

東芝を選んだ理由

平日と休日の電力需要の差が大きい当社工場にとって、発電の停止を回避するには、設置する太陽光発電システムの容量を休日負荷に合わせた小さい容量にせざるを得ないことが課題でした。そのような折、東芝さんから、独自の発電継続機能(詳細は裏面参照)を活用した提案をいただきました。これにより、平日負荷に合わせた大きな容量を設置することが可能となり、また容量別の収支シミュレーションをご提案いただいたことで、投資効率の良いシステムの検討が可能となりました。そして社内で検討を重ねた結果、電気料金削減効果だけでなく、新規商材としても見込めることから、東芝さんのご提案システムを導入することにしました。また、当社未経験であった、補助金申請についてサポートいただいたことも大きな要素となりました。

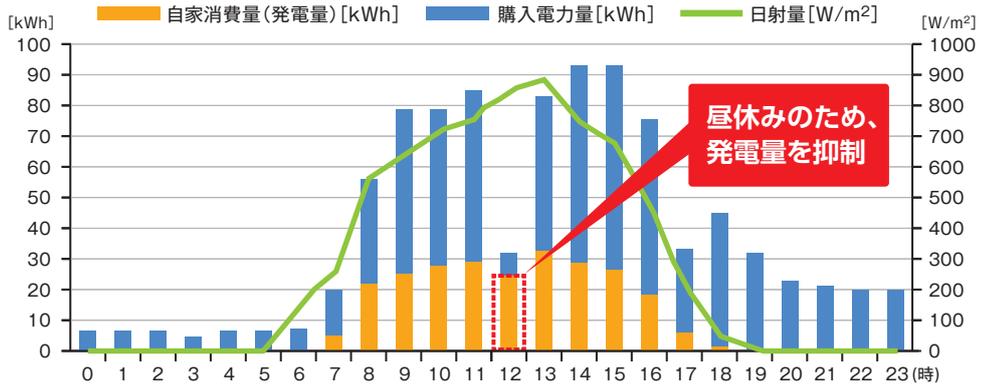


株式会社 興電舎
 代表取締役 甲斐 稔康 氏

月平均で約10%の電気料金削減を実現

自家消費型太陽光発電システム(40kW)の導入により、電力需要が多い昼間の時間帯で約30%、休日を加味した月平均で約10%の電気料金削減を実現しました。
 また、昼休み等の電力需要が少ない時間帯には、東芝独自の発電継続機能により、パワーコンディショナの停止を回避しております(自動出力抑制)。

<平日の購入電力量削減状況>



発電継続機能の特徴

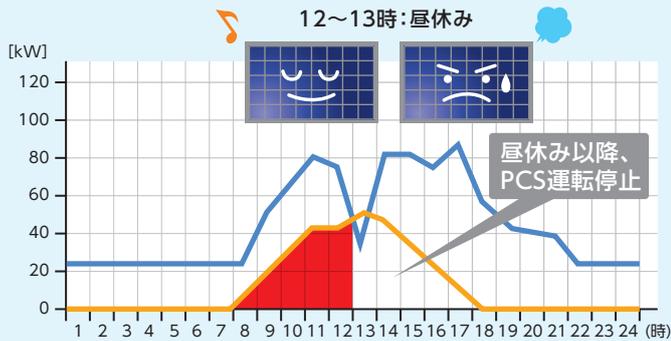
工場に設置した場合の自家消費量比較(一例)

電力需要 発電量 自家消費量

一般的なシステム

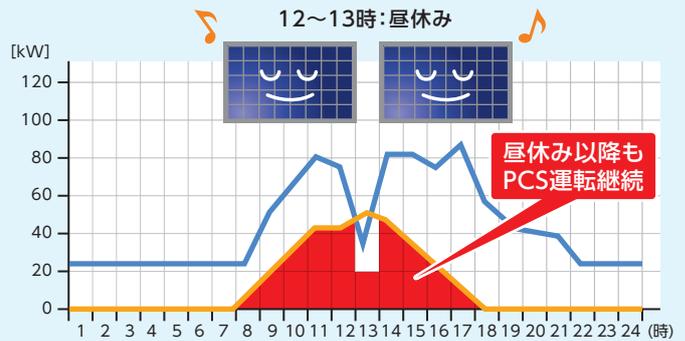
余剰電力発生によりパワーコンディショナが停止(発電停止)

(自動復帰機能付きの場合でも、オンオフの頻発により開閉器の寿命が短くなるリスク有)



ご提案システム

独自技術で余剰電力が発生しないように制御
 パワーコンディショナの停止を回避



東芝独自の出力制御技術の利用により、余剰電力発生による発電停止を回避することができます。

工場などの昼休みや休日のあるお客さまでも、日中最低デマンド値に縛られず、**収益性の高い容量の設置**が可能となります。

株式会社 興電舎 様



所在地	宮崎県延岡市浜町222番地1
契約電力	140kW
設置場所	株式会社興電舎内 製造倉庫屋上・配線第2工場屋上・大型車両倉庫屋上
システム容量	太陽光パネル:44.52kW、パワーコンディショナ:40kW
補助金	平成28年度 再生可能エネルギー事業者支援事業費補助金
元請会社	株式会社ダイワ
電気工事	古賀電気サービス
設置時期	2016年11月~12月
概要	1949年に会社設立。電気設備・計装設備・電力設備の保全に関わる設計およびサービスに加え、電気・通信・計装設備の設計・施工も手がけております。近年は、住宅用や産業用太陽光発電システムの販売・施工も行っています

東芝エネルギーシステムズ株式会社

電力流通システム事業部 太陽光発電システム営業部
 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

東芝産業用太陽光発電システム ご相談センター
 TEL 03-6701-5878 (通話料:有料)

(受付時間 平日9:00~17:00 ※土日祝日、年末年始を除く)

お問い合わせは下記まで